DECOR

SEIKO

取扱説明書

このたびはデコールセイコーをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用にあたってはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なおこの取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

特 長

★ 標準電波を受信して現在時刻を表示する電波修正機能付き。
★ 毎正時に左右のスピーカーから高音質のメロディがなります。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、お買い上げ店または、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。
（例：AM○○○、PW○○○、KR○○○など）

お客様相談室　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号　ZAS-017P

必ずお守りください。

安全上のご注意

⚠ 警　　告

＜アルカリ電池について＞

⑴ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
　アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
⑵万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

　ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注　　意

＜掛け方について＞

時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。
ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。
※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。市販の掛け具をご使用ください。
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。
　＜掛け方について＞をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
⑴電池は必ず㊀側から入れてください。また、㊉㊀を正しく入れてください。
⑵製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲のものを汚したり、傷めたりする恐れがあります。
⑶充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
⑷電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
⑸直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
⑹時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
⑺添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

暑い場所（＋50℃以上）

寒い場所（0℃以下）

振動の激しい場所

湿気の多い場所

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
　例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。
●塵、埃の多い所。
　空気中に舞い上がったごみが歯車などに挟まって時計が止まることがあります。
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
　磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。
●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
●振動のある所。不安定な所。
●工場、台所など多くの油を使用する所。
　霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。
●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
　壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。
●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、５年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。
販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
　殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

【プラスチック枠の時計の場合】

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

【木枠・金属枠・石枠の時計の場合】

●汚れやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。
　また保証の対象外となりますのでご注意ください。
※輸送等にお使いいただくために、個装箱の保管もおすすめいたします。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

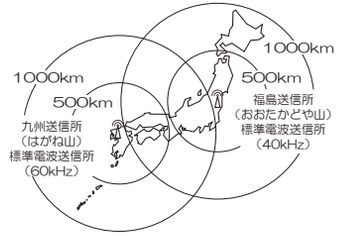
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。
この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- ●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- ●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。
  （ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ●ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
- ●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- ●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- ●その他電波ノイズを発生させるものの近く。

製品仕様 ▶ （改良のため予告なく変更する場合があります。）

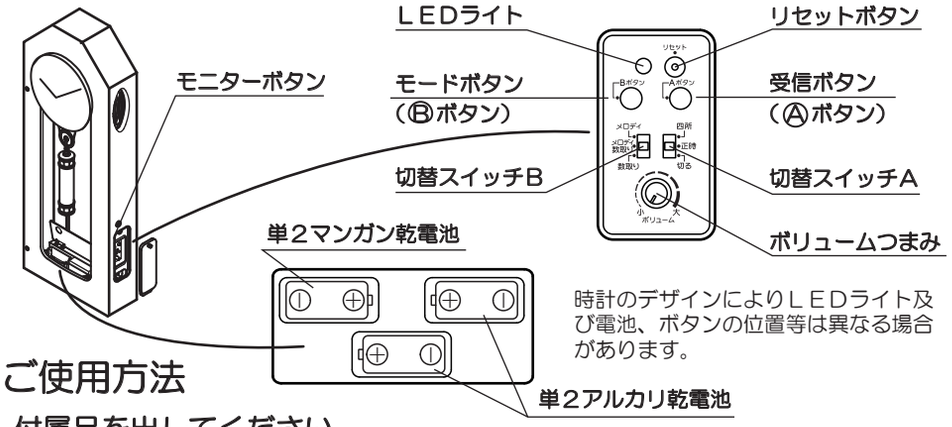
- ●精　　度：平均月差±20秒
  （電波受信による時刻修正を行なわない場合）
  （気温５℃から35℃で使用した場合）
- ●使用温度範囲：－10℃～＋50℃
- ●使 用 電 池：単２アルカリ乾電池（LR14）２個
  単２マンガン乾電池（R14P）１個
- ●電 池 寿 命：約１年
  （1日につき音量（中）の状態で正時メロディを１６回鳴らした場合）
- ●電波受信機能：自動受信
  ・毎日午前２時に自動で電波受信を行います。
  以後３時間ごとに時刻の補正を繰り返します。
  （受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。）
  手動受信
  ※2つの電波（40kHz、60kHz）のうち、最適な一方を選択し、受信します。
- ●受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をＬＥＤライトで表示
- ●時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
- ●報　　時：① 毎正時メロディ
  ② 毎正時数取り
  ③ 毎正時メロディ＋数取り
  ④ 毎正時メロディ＋１５分毎専用メロディ
  ⑤ 毎正時数取り＋１５分毎専用メロディ
  ⑥ 毎正時メロディ＋数取り＋１５分毎専用メロディ
  （①～⑥の切替式、曲自動切替）
- ●光センサーによる
  自動鳴止機能：暗くなると報時を停止します。
- ●光センサーによる
  自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「12時」の位置で停止します。
- ●音 量 調 節：無段階式

※指針（針の表示）誤差について
製造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

ご使用方法 ▶

（製品により外観、電池、ボタンの位置などが異なりますが、操作方法は同じです。）

⚠ 注意 前扉は大変重いので、開閉するとき時計が前扉の重みで傾くことがあります。開ける際は、時計の下の方をしっかりおさえ、十分注意してください



時計のデザインによりＬＥＤライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

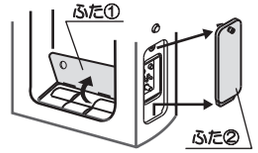
■ ご使用方法

１．付属品を出してください

・単２アルカリ乾電池 ２個　・単２マンガン乾電池 １個　・振り子　・飾り重錘
・掛け金具　・専用ねじ（大４本、小１本）・クロス １枚　・手袋 １双　・保証書 １枚

２．ふたを開けてください

前扉を開け、底面のふた①と側面のふた②を開けてください。
操作の際、時計を立てる時は底面の止め金具にご注意ください。
下が傷つく恐れがあります。



３．電池を入れてください

（単２アルカリ乾電池２個、単２マンガン乾電池１個）
⊕⊖ を間違えないように注意してください。

４．リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

●秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。
（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）

●受信中（最長約２０分間）はＬＥＤライトが受信状態に応じて点灯します。
（P7「■受信状態について」をご覧ください。）

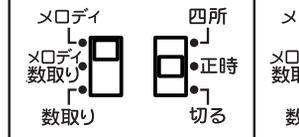
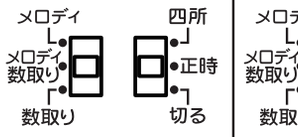
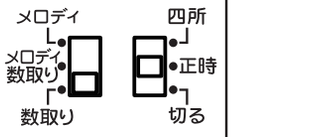
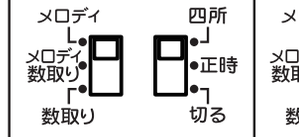
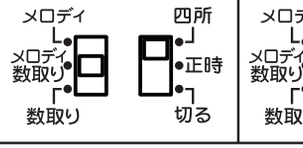
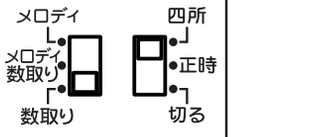
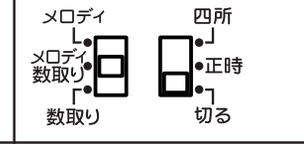
●受信に成功した場合
ＬＥＤライトが消灯し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「０秒」に合わせて秒針が動き出します。

●受信できなかった場合
その場合はＬＥＤライト消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。
P7「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）**電池交換後は、必ず「リセットボタン」を押してください。**

５．メロディ、数取りの設定をしてください

(1) 切替スイッチA、Ｂでメロディ、数取りの設定をしてください。
スイッチの位置により以下のようになります。

	メロディだけ鳴らす	メロディの後数取りを行なう	数取りだけ鳴らす
１時間毎に正時に鳴らす			
正時に鳴らし１５分毎に鳴らす			
鳴らさない		切替スイッチBの位置にかかわらず、メロディ、数取りは鳴りません。	

(2) メロディ操作部のボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。

６．ふたを閉めてください

ふた①、ふた②と前扉を元の通り閉めてください。

７．時計を掛けてください

本機を使用したい場所に掛けてください。
この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

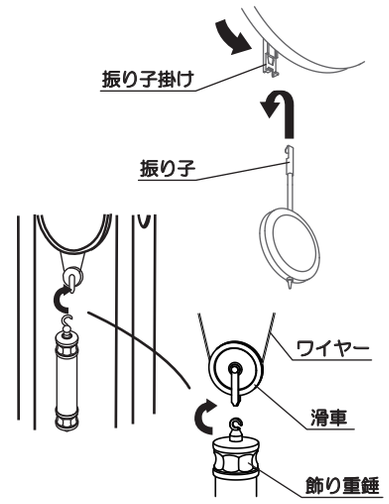
８．振り子を掛けてください

振り子掛けを右に動かして振り子止めピンからはずし、ぶらぶらの状態にして、振り子を掛けてください。

●この時計の振り子は装飾用ですので、時計の進み、遅れとは全く関係ありません。

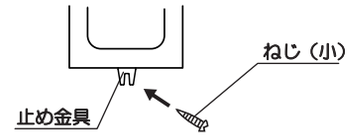
９．飾り重錘を掛けてください

滑車の溝にワイヤーを掛けて、飾り重錘を吊り下げてください。



１０．時計を固定してください

時計の左右の傾きを直し、止め金具をのばして、ねじ（小）でしっかり止めてから振り子を振らせてください。



その他の機能（1） ▶

■ 受信状態について

リセット後の受信中、または手動受信中は、以下のようにＬＥＤライトの色によって受信状態を表示します。
ただし、自動受信中はＬＥＤライトは点灯しません。

ＬＥＤライトの状態	受 信 状 態
“緑”が点灯	電波状態が良く受信可能
“緑”が点灯し、たまに“赤”が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
“赤”と“緑”が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
“赤”が点灯し、たまに“緑”が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
“赤”が点灯	電波状態が悪く受信不可能 （受信開始後最初の約2秒間は必ず“赤”が点灯します）

■ 受信結果について

通常ご使用中に受信ボタン（Ⓐボタン）を1回押す（2秒以下）と以下のようにＬＥＤライトの色によって電波受信結果を表示します。
“緑”が点滅：２４時間以内に受信に成功しています。
“赤”が点滅：２４時間以内に一度も受信できていません。

■ 自動受信について

毎日午前２時に自動で電波受信を行います。
以後３時間ごとに時刻の補正を繰り返します。
●受信中（最長約２０分間）は針が不規則な動きをすることがあります。
秒針：１２時の位置で停止
分針：約３０秒ごとに運針

■ 電波を受信できなかった場合

１．電波を手動で受信させ、時刻を合わせる

受信ボタン（Ⓐボタン）をＬＥＤライトの“赤”が点灯するまで（約２秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。受信に要する時間は、最長約２０分間です。
●受信中は、ＬＥＤライトが受信状態に応じて点灯します。
（「■受信状態について」をご覧ください。）
●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。
●詳しくはP3 電波クロックについて をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

２．手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。
⑴ モードボタン（Ⓑボタン）を秒針が早送りするまで（約２秒）押し続けてください。
秒針が「１２時の位置」で停止します。
⑵ 受信ボタン（Ⓐボタン）を１回押すと、分針を１分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
⑶ モードボタン（Ⓑボタン）を押すと同時に、針が動き出します。

その他の機能（2） ▶

■ 受信中・報時中の操作について

受信中、報時中の操作は以下のようになります。

動作＼操作	鳴り止め（切替スイッチA→切る）	試し鳴らし（モニター）	手動受信	受信結果表示
報時中	メロディが鳴り止まる	次の曲を演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	メロディが鳴り止まる	次の曲を演奏する	無　効	受信結果を表示する
手動受信中	――	無　効	――	無　効

■ 試し鳴らし（モニター）について

モニターボタンを押すと、時刻に関係なくいつでもメロディを鳴らすことができます。
また、メロディ演奏中にモニターボタンを押すごとに曲が切り替わり、順に聞くことができます。
●メロディ演奏後は数取りが３回鳴ります。
●試し鳴らしを途中で止めるときは、切替スイッチAを一旦、**四所**または**正時**に合わせてから**切る**にしてください。
●手動受信中に試し鳴らしはできません。また、試し鳴らし中に手動受信はできません。

■ 光センサーによる自動鳴止めについて

暗い所では、報時は行いませんので、メロディやパフォーマンスを気にすることなく、おやすみになれます。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）
⑴ 電池を入れてリセットボタンを押した後に、受信ボタン（Ⓐボタン）をＬＥＤライトが点滅をはじめるまで（約７秒）押し続けてください。
⑵ 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出します。
⑶ 秒針が再び動き出したら、P7「■電波を受信できなかった場合　2.手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を設定した後も受信ボタン（Ⓐボタン）をＬＥＤライトの“赤”が点灯するまで（約２秒）押し続けると手動受信を開始します。その後自動受信はしません。
●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。
注）通常ご使用の状態で自動受信を止めるには、受信ボタン（Ⓐボタン）をＬＥＤライトの“赤”がいったん点灯し、その後消灯するまで（約７秒）押し続けてください。

■ 光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。
明るくなると「0秒」に合わせて秒針が動き出します。
●秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

保証・アフターサービス ▶

●保証書の「お買い上げ日」、「販売店名」の記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記入されていない場合、アフターサービスを受けられない場合があります。保証書はよくお読みのうえ、保管してください。

●保証期間内に、取扱説明書に従ったお取扱いにより本製品が故障した場合、保証規定に基づき無料で修理させていただきます。販売店名記入の保証書を必ず添えて、お買い上げの販売店へお申し出ください。なお、**保証書は日本国内のみ有効です。海外でのアフターサービスはお受けできません。** (This warranty is valid only in Japan.)

●保証期間終了後の修理は有料です。保証期間中でも無償対象外の修理は有料です。

●修理に際しては、部品およびその他の付属品に一部代替品を使用させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●修理可能な期間や内容は、ご使用条件により異なります。修理可能な場合にも元どおりの精度や外観にならない場合があります。

●保証・アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店または弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

故障かなと思ったときには ▶

電池が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえにご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。 ・静電気などによりマイコンが誤作動している。 ・強制受信中または時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2～3回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	・暗くなりセンサーが作動している。 ・自動受信中である。	・室内を明るくすると秒針が動き始めます。 ・受信が終了すると動き始めます。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
メロディが鳴らない	・切替スイッチAが**切る**になっている。 ・ボリュームが下がっている。 ・暗くなりセンサーが作動している。	・スイッチを**四所**または**正時**にしてください。 ・ボリュームを上げてください。 ・室内を明るくすると鳴ります。
振り子が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・振り子がロックされている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・「■ご使用方法」にしたがって、振り子のロックをはずしてください。

■ ご注意

●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。

●電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

●時計を輸送する場合は電池と振り子、飾り重錘をはずし、振り子掛けを元の通りに固定してください。